

## ワーキンググループ会議（2019年9月25日開催）での意見反映箇所

No.	会議意見	調査への反映	該当箇所
1	用語がわかりにくい (カタカナ語など)	◆できるかぎり、注釈を付ける (「アクセシビリティ」「インクルーシブ」)	18歳以上 問66 ヒアリング 問5
2	「サービスの用語説明」の 掲載を工夫する (設問と用語説明のページ が離れているので回答者に わかりにくい)	◆「サービスの用語説明」の部分は別紙に印刷し、同封する	18歳以上 別紙
3	イラストなどの掲載 (知的障がい者などにわかり やすい)	◆余白にカット(イラスト)を追加する	18歳以上 全体 18歳未満 全体
4	回答者の負担の軽減 (知的障がい者や手話言語 者などは大量の文字を読む のが困難)	◆相談支援事業所などの協力を得られる場合、調査票の表紙に、「自力回答の困難な対象者は、市担当課、相談支援事業所などに調査票を持って行けば、回答を手助けする」という内容を明記する	18歳以上 p.1 18歳未満 p.1
5	「幸福度」をたずねる設問 の追加	◆幸福度をたずねる設問を追加する	18歳以上 問68 18歳未満 問71
6	回答の指示がわかりにくい (指示にしたがって飛んだ先の 設問番号に「全員にお聞きしま す」と表記されているのがわか りにくいなど)	◆指摘を受けた「この設問から、全員にお聞きします」表記を削除する	18歳以上 全体 18歳未満 全体
7	前文で「答えることにより 得られるもの」をアピール する (回収率を上げるため)	◆調査票の表紙に、「調査への協力が、市の障がい者福祉施策の充実に向けた住民参加になる」という内容を明記する	18歳以上 p.1 18歳未満 p.1
8	高齢者(65歳以上)を区分して 調査する (65歳以上は就労に係る設問な どには回答しないため)	◆就労に係る調査項目をひとまとめにして、調査票の後ろに移動し、「ここからは65歳以上の方は回答不要です」といった回答指示を明記する	18歳以上 問76～問85
9	人権に配慮した表現 (家族が本人を介助するのを 前提としているように読 める設問文、医療に係る設 問での「意思の疎通ができ ない」という表記など)	【積極的に反映可能】 ◆指摘を受けた箇所の表現を修正する	18歳以上 問64、問90 18歳未満 問76
10	ヒアリング調査について、 当事者団体などの要望をた ずねる設問が必要	◆「市に望むこと」のような設問を追加する	ヒアリング 問15
11	ヒアリング調査について、 自由記述式設問が多く回答 が負担	◆「選択式回答以外にもご意見があれば、記述式回答にもご記入ください」という内容を明記する	ヒアリング 問1～問12
12	ヒアリング調査について、文言 や回答欄を精査 (問1から問11まで同じ文言が 繰り返されているなど)	◆文言の繰り返しについては、読みやすく変更・削除する ◆選択式回答については、現行計画の「施策の内容」ほぼそのままになるように変更する	ヒアリング 問1～問12